

特集

桂川町の未来に向かって

筑豊の玄関口「桂川駅」が生まれかわります。

桂川町では、福岡市まで電車で約30分という桂川駅の利便性を活かしたまちづくりをどう進めるかが、重要な課題となっていました。

そこで、現在、町が進めているのが、桂川駅周辺の整備により都市機能の向上を図り、福岡都市圏への通勤圏としての定住環境の魅力を高めていくための取り組みです。

具体的には、まず国道200号から桂川駅南側にアクセスできる道路（山崎・上深町線）の整備を進めてきました。そして、平成27年度に策定した桂川駅周辺地区都市再生整備計画（※注）に基づき、駅南側広場の整備や、駅の南北をつなぐ自由通路の整備が、本格的に始まろうとしています。

これにより、桂川駅の交通結節点としての機能を向上させ、駅利用者の安全性や利便性の確保と都市部への通勤圏としての魅力を高め、筑豊の玄関口にふさわしい、暮らしやすい「まち」を創出いたします。



【桂川駅周辺イメージパース】



ねえねえ未来ちゃん！見たことがない駅だけど、これはどこの駅のイメージ図なの？



古代くん、これはね、今、桂川町が進めている桂川駅周辺の整備事業で作られる施設の完成イメージ図なの。なんと、駅の南北をつないで、改札口とも直結する自由通路が新しくできるのよ。しかもエレベーターも設置されてバリアフリーになるから、とても利用しやすくなるの。



へー！！すごく便利になるんだね。ワクワクするね。未来ちゃん！これから桂川駅周辺がどんなふうになるのか、もっと詳しく教えてよ。

※桂川駅周辺地区都市再生整備計画

平成27年度から平成31年度までの5年間で、国の交付金を活用しながら、桂川駅周辺の機能充実と定住促進のまちづくりを進めるための計画です。